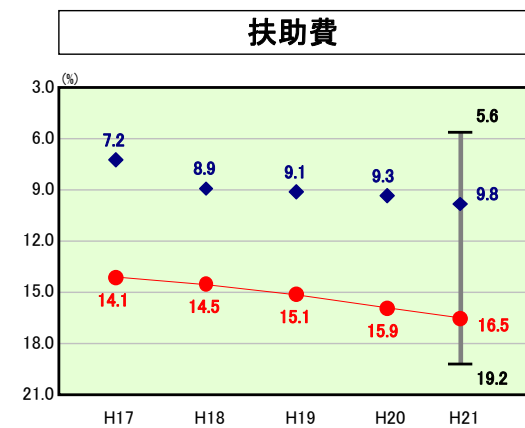
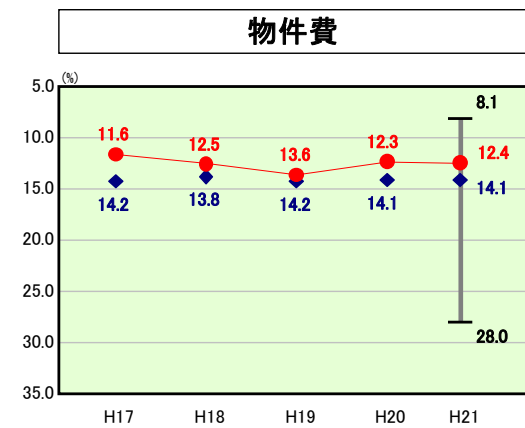
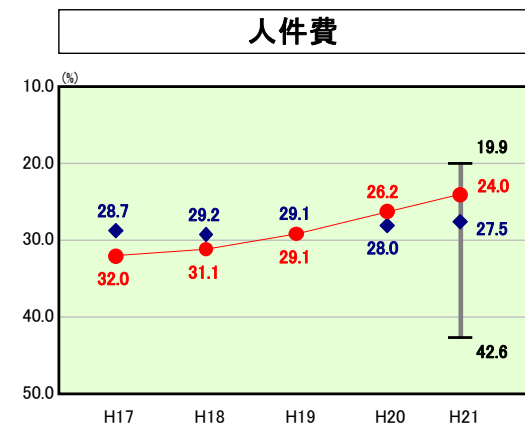
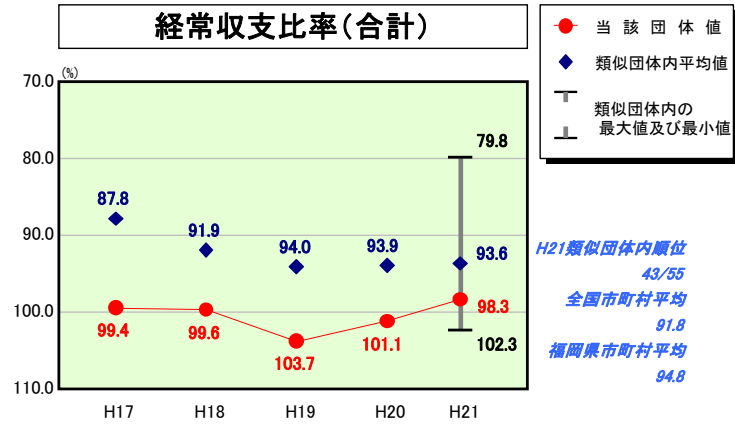
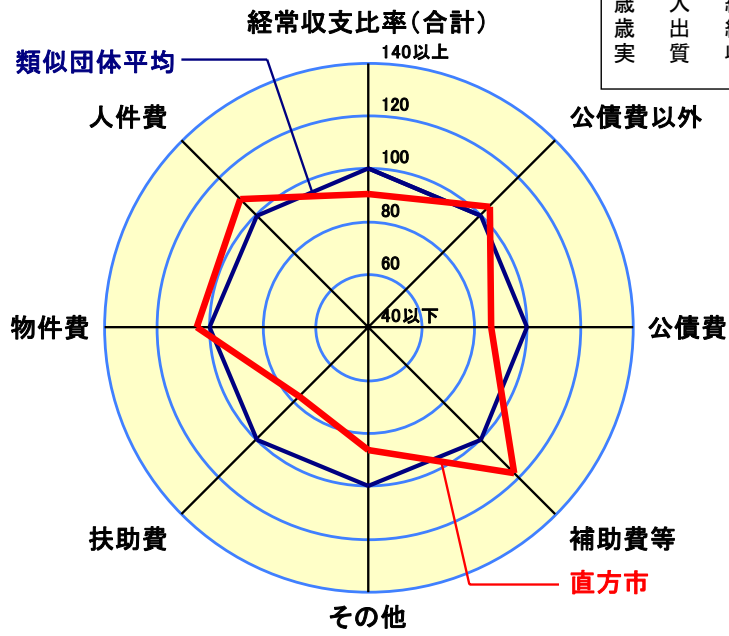


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	58,828人(H22.3.31現在)
面積	61.78 km ²
標準財政規模	12,443,572千円
歳入総額	24,698,503千円
歳出総額	24,358,455千円
実質収支	10,282千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

○経常収支比率
 近年100%を超える状況が続いていたが、前年度との比較で2.8%の減となり、2年連続での改善となっている。21年度においては歳出面で人件費の削減が進んだ事、また歳入面で普通交付税等の一般財源が増加した事が改善の主な要因である。全体的には扶助費と公債費が本市の経常収支比率を押し上げているが、共にその歳出性質上、即時の大幅な改善が見込みにくい。新規地方債の発行抑制による公債費負担の軽減、また歳入面から収支等による経常一般財源の確保に今後も継続して努め、歳入歳出両面からの改善を図る必要がある。

○人件費
 職員削減や各種手当の廃止等削減が進み、類似団体平均を上回る数値まで改善している。本市は学校給食事業やごみ収集運搬業務などをほぼ直営で実施してきた事から職員総数が多い状況にあったが、業務の外部委託や組織の再編成に取り組んだ結果、職員数の削減が進んでおり、17年度職員数450名に対して、18～21年度間で普通会計74名の削減を実施し、21年度職員数376名となっている。直方市行政改革実施計画に基づいた取り組みを今後も推進し、直営業務の外部委託等による人件費の削減を継続する。

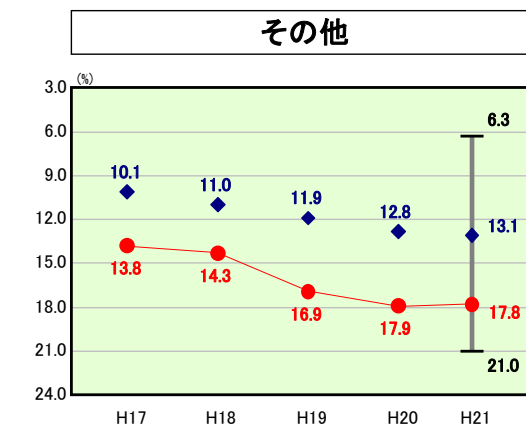
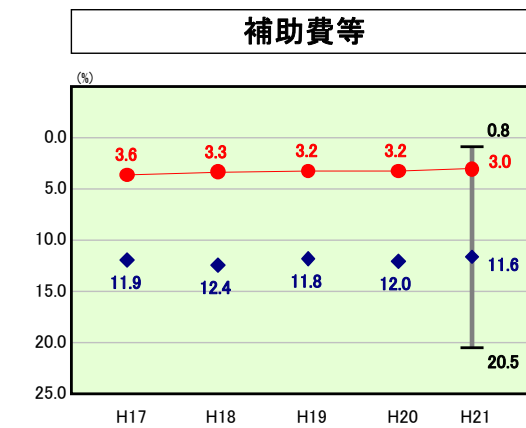
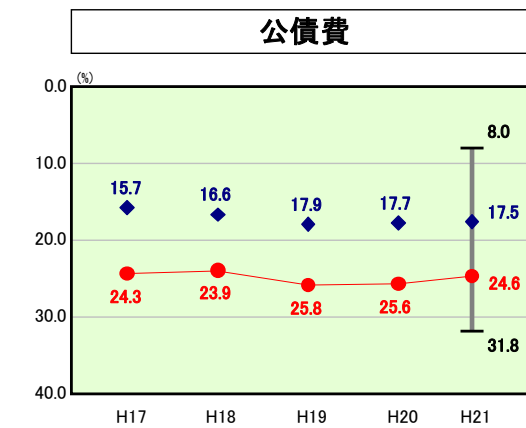
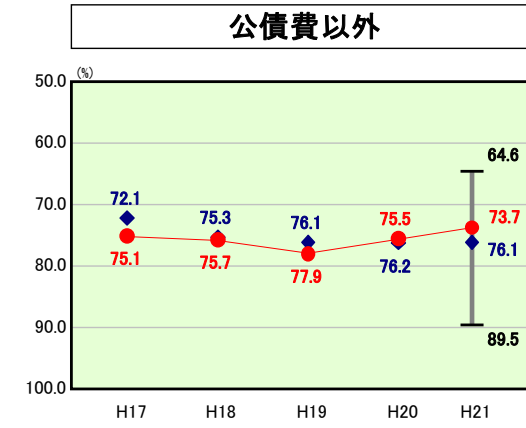
○物件費
 過去5年間の決算において類似団体平均より低い水準で推移しており、物件費については抑制された状況が続いている。行政目的別に見ると、衛生目的で支出した物件費が他の類似団体平均と比較して高い傾向にあるが、これは本市がごみの焼却・最終処分を他市に委託しているためである。衛生費以外の部分では、教育費で小中学校に対する地デジ対応等の一時的な歳出増はあったものの、類似団体と比較して概ね低い水準となっている。

○扶助費
 人口1人あたりの扶助費決算額は、他の類似団体平均と比較して約1.9倍となっており、個別に見ると生活保護費約2.2倍をはじめとして、老人福祉費約2.0倍、社会福祉費約1.8倍と軒並み高い水準にある。扶助費については、その性質から今後も大幅な改善が見込み難い状況であるが、市単独で実施している事業については見直しを進めており、財政を圧迫している現状の改善に努める。

○公債費
 類似団体との比較では、経常収支比率で平均を7.1%上回っており、人口1人あたりの比較で約1.5倍の高水準となっている。10年度から13年度にかけて、地方債を財源とした大型基盤整備事業を実施したため、これに伴う償還額が増大している事が主な要因である。21年度については、借入額が約21.7億円、対して償還額は約27.7億円であり、地方債残高は差引き約6億円の改善となっているが、普通交付税の振り替えとなる臨時財政対策債の発行が21年度以降大幅な増加傾向にある事から、例年10億円程度の減少を見込んできた地方債残高が今後は2～3億円程度の減額に止まる見込みである。事業費に対する地方債の発行抑制は続いており、臨時財政対策債の償還費も後年度の普通交付税において措置はされるものの、今後もより慎重に事業の取捨選択を行い、地方債の新規発行額を抑制し続ける必要がある。

○補助費等
 補助費等に係る経常収支比率は、類似団体平均との比較で8.6%下回っており、本市のこの部門の歳出額は非常に低い。本市は一部事務組合などを組織して実施している事業が小規模であり、結果これらに対する負担金も少ない事が類似団体平均を大きく下回っている要因である。18年度には市補助金の見直し(10%カット、一部廃止など)も実施しており、抑制は進んでいる。

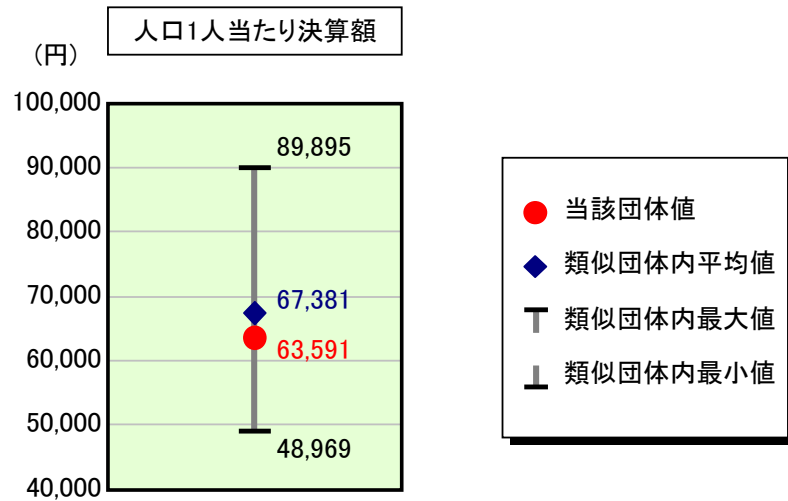
○その他
 介護保険事業会計・下水道事業会計など特別会計への繰出金が大きく、これが「その他」の費用に係る経常収支比率を押し上げる要因となっている。今後は下水道事業会計への繰出金の増加も予想されるため、各特別会計の経費削減等を行うことにより繰出金の削減を図る必要がある。



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

福岡県 直方市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



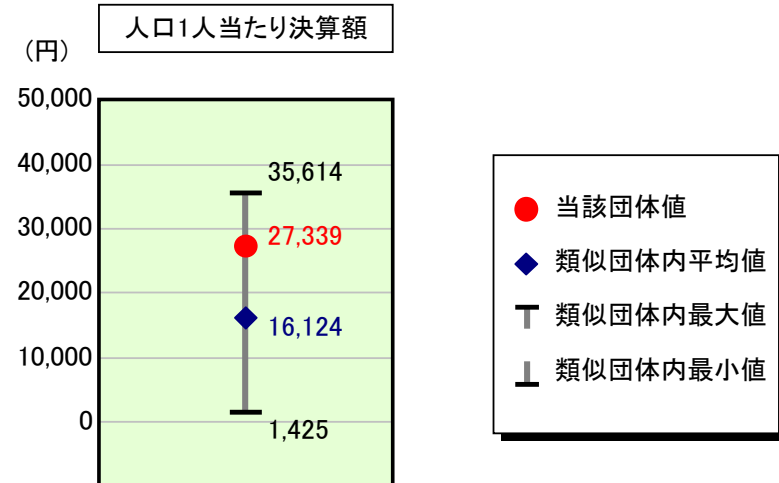
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	3,726,788	63,351	61,348	3.3
賃金(物件費)	59,423	1,010	3,406	▲ 70.3
一部事務組合負担金(補助費等)	6,592	112	5,168	▲ 97.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	986	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	301,882	5,132	3,053	68.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	197,610	3,359	1,302	158.0
▲退職金	▲ 551,378	▲ 9,373	▲ 7,882	▲ 18.9
合計	3,740,917	63,591	67,381	▲ 5.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.39	6.09	0.30
ラスパイレス指数	100.9	99.1	1.8

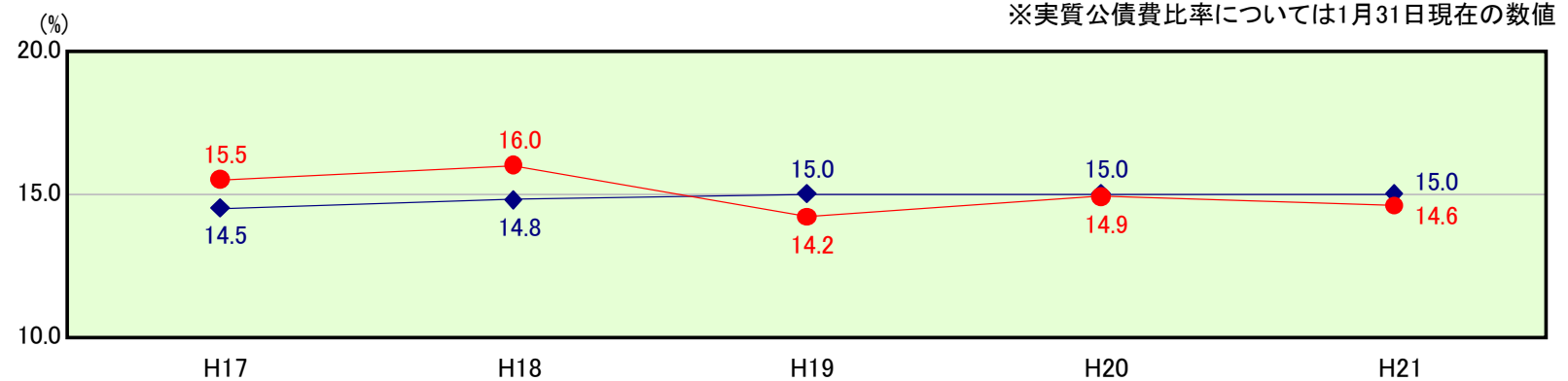
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素) ※1月31日現在の数値

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,158,679	53,693	35,481	51.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	19	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	107	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	506,704	8,613	9,277	▲ 7.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	-	-	3,156	-
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	754	13	1,274	▲ 99.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	2,097	36	24	50.0
▲特定財源の額	▲ 322,408	▲ 5,481	▲ 8,528	▲ 35.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,737,507	▲ 29,535	▲ 24,687	19.6
合計	1,608,319	27,339	16,124	69.6

※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移

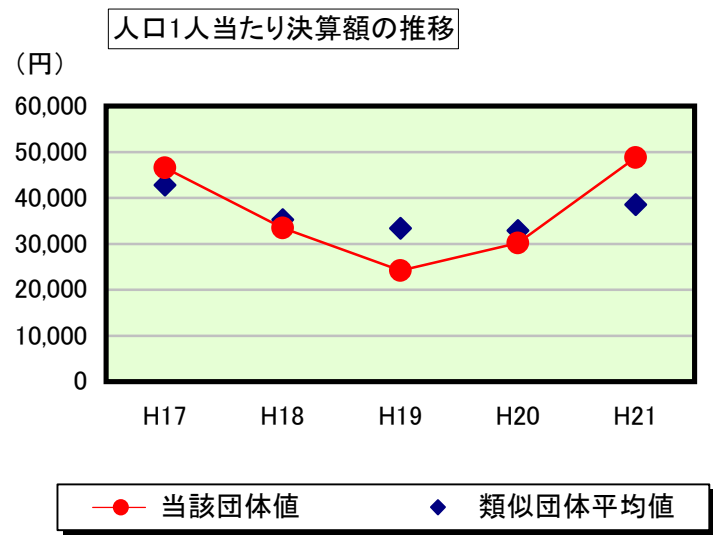


● 実質公債費比率
◆ 起債制限比率

歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

福岡県 直方市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H17	2,754,296	46,540	39.2	42,811	4.3	34.9
うち単独分	2,304,884	38,946	90.9	29,783	4.0	86.9
H18	1,978,273	33,448	▲ 28.1	35,287	▲ 17.6	▲ 10.5
うち単独分	1,443,380	24,405	▲ 37.3	22,883	▲ 23.2	▲ 14.1
H19	1,422,075	24,164	▲ 27.8	33,360	▲ 5.5	▲ 22.3
うち単独分	987,905	16,786	▲ 31.2	21,314	▲ 6.9	▲ 24.3
H20	1,777,555	30,195	25.0	32,868	▲ 1.5	26.5
うち単独分	1,262,035	21,438	27.7	22,184	4.1	23.6
H21	2,871,455	48,811	61.7	38,558	17.3	44.4
うち単独分	1,846,091	31,381	46.4	24,217	9.2	37.2
過去5年間平均	2,160,731	36,632	14.0	36,577	▲ 0.6	14.6
うち単独分	1,568,859	26,591	19.3	24,076	▲ 2.6	21.9